

令和六年度 卒業式 式辞

校長 祖根 聖吾

札幌市では例年になく雪の少ない状態が続きましたが、二月、三月は帳尻を合わせるかのような度重なるドカ雪が話題になりました。しかし、少しずつ、空が高く青く澄み渡る日が増えるとともに、雪も溶け始め、春の足音が確実に近づいてきています。

今日のこの佳き日に、皆さんは、陵北中学校を卒業します。

ただいま、卒業証書を手にした218名の皆さん、本当におめでとうございます。

皆さんの卒業アルバムを見ると、そこには三年間の足跡が記録されていました。入学式、担任の先生とともに入場してきた姿は、少し大きめの標準服に袖を通し、椅子に浅く腰掛け、緊張しながらも真剣に式に臨んでいた姿が映し出されていました。その時から三年間、皆さんは、この陵北中学校で確かに学び、着実な成長を遂げました。

さて、ここで皆さんに一つの言葉を紹介します。「人生に二連敗はない」これは、メジャーリーグ シカゴ・カブスの今永昇太投手の言葉です。意味は、「挑戦した時点で一回勝っている。その挑戦が失敗しても一勝一敗。だから挑戦し続けていれば二連敗はない。私は、何度でもチャレンジする。」日本人の特性としては、失敗したらしっかり反省して同じ失敗を繰り返さないように慎重に行動する。というのが一般的ですし、学校でもそれを求められがちです。しかし、グローバルの世界では、どんなに失敗しても挑み続けることに価値を見出す例が多いようです。みなさんの住む地球はこれまでの時代よりも小さく狭く近くなります。日本人の伝統は継承しつつ、世界で活躍する人材となるために、何でも挑戦し続ける人であってほしいと思います。

長い人生です。時には、地面に激しく叩きつけられ、うずくまってしまうこともあるかもしれません。そんな時に、あなたはどうしますか。あなたには、あなたを応援する人がたくさんいます。家族・友人・先生方・地域の方々。しかし、彼らが何かをできるのは、あなたが自らの力で立ち上がってからです。

どんなに失敗しても、後悔しても、心折れても、何度でも立ち上がってほしい。挑戦し続けてほしい。

今、一人一人に卒業証書を手渡しながら、皆さんの確かな成長を感じていました。ステージに向かって一步一步着実に歩む美しい姿勢、担任の先生に呼名されての力強い返事、卒業証書を受け取る時の希望に満ちた輝く瞳、それら一つ一つが、皆さんの中学生としての成長を示していました。当たり前の一日一日を一生懸命に送ってきたからこそ、その積み重ねが本日、大きな喜びとなりました。そして、今、一生の仲間という大きな財産を得たのです。

卒業生は、その成長を誇りに思ってください。中学校卒業後は様々な場面で困難に直面することがあるかもしれませんが。しかし、そんな時には、この陵北中学校で過ごした日々を思い出してください。どんな逆境にあっても、時には自分自身の願いをあきらめなければならないこともあるでしょうが、しかし、新たな目標・夢をもち、何度でも立ち上がる力を三年間で蓄えたのは間違いありません。自信をもって挑戦し続ける日々を仲間と共に送ってほしいと願っています。

そして、改めて今日の日まで、皆さんを支えてくれた人々に感謝の気持ちをもってほしいと思います。

現に、皆さんの新たな門出を祝うべく、本日は、お世話になった小学校の校長先生や担任の先生方、服部PTA会長をはじめ役員の皆様、日頃からお世話になっている地域の方々、そして皆さんを心から愛し、大切に育てくれた保護者の方々より温かいお祝いの言葉をたくさんいただいています。私からも卒業生と共に心よりお礼申し上げます。

卒業生の皆さん、旅立ちの時です。

「人生に二連敗はない」日々の努力を怠らず、さらに成長をしていってください。

皆さんが、思い描く立派な人間、社会人になれるよう、そして益々活躍されることを心からお祈りし、私からのほんまけの言葉といたします。

令和六年度 卒業式 答辞

卒業生代表

日差しが日々暖くなり、春の訪れを感じられる季節となりました。

私達218名は本日、9年間の義務教育を終え、陵北中学校を卒業します。この度はこのような素晴らしい卒業式を行って頂き本当にありがとうございます。卒業生を代表してお礼申し上げます。

3年前の4月。新型コロナウイルスがまだ猛威を振るう中、私達は陵北中学校に入学しました。感染症対策で行事も縮小されていると知り、これから始まる中学校生活は様々な制約に縛られ、楽しいものにはならないかもしれないと、より大きな不安を抱えていました。しかし、教職員の方々や保護者の皆様の支えがあって、前向きな気持ちで中学校生活をスタートさせることができました。そして何より、楽しい思い出を作ることができたのは仲間たちの存在でした。

二年生ではコロナウイルスが5類に移行されたことにより、日常が戻ってきて、コロナ禍以前のような中学校生活を送ることができるようになりました。特に、全学年が体育館に集まって行うことのできた「合唱交流会」が印象に残っています。どの学年の合唱も圧巻で、それぞれの学年の色が強く反映された歌だと、感動しました。私達が体育館で歌った「手紙」は、学年全員が一丸となり今までで一番いい合唱を披露することができ、とても嬉しかったです。

そして三年生では最高学年として恥ずかしくないよう、後輩たちにかっこいい背中を見せられるよう、部活動や生徒会活動、行事に常に全力で取り組みました。私の中で特に頑張ったのは総合発表会です。全校生徒に楽しい総合発表会だったと思ってもらえるように今年はオリジナルの作品を一から生徒会本部で制作しました。ときには衝突しながらも、笑い合い、励まし合って、切磋琢磨し、本番では最高の劇を全校生徒に発表する事ができました。私にとって大切な思い出となっています。

さて、もう卒業の時間が刻一刻と迫ってきています。

もう陵北中学校で先生方や生徒の皆さんに会えないのはとても悲しいです。

在校生の皆さん、今まで私達三年生についてきてくれてありがとうございました。3年間という時間は長いようですが本当にあっという間に過ぎ去っていきます。ときには壁にぶつかるかもしれませんが、諦めず挑戦して、残りの中学校生活一日一日を大切に過ごしてください。先輩としてずっと応援しています。

3年間私達を支えてくださった先生方。授業だけでなく、様々なことでいつも私達の相談相手になってくださいました。そして先生方からのアドバイスにいつも助けられました。ときにはふざけすぎて怒られたこともありますが、そのお陰で間違いを正すことができました。いつも近くで支えてくれた先生方、3年間本当にありがとうございました。

保護者の皆様。生まれたその日から私達はこんなに大きくなりました。これまで沢山の失敗や成功を繰り返しながらも頑張れたのは、家族の支えや応援があったからです。大会前や受験前、「いつもどおり、落ち着いて頑張っておいで」と送り出してくれたことで落ち着いて本番に挑むことができました。ときには喧嘩をしたり、泣いたり、笑い合ったり、家族のみんなと過ごした時間はこれまでもこれからもずっとずっと大切な宝物です。

お父さん、お母さん。15年間育ててくれてありがとうございました。これからも沢山迷惑をかけてしまうと思いますが、どうか側で私達の成長を見守り、支えていてください。

そして、三年生のみんな。3年間沢山の時間を共に過ごしました。ときには辛いこと、悲しいこともありましたが、いつも側で励まし合い、支え合ってきました。みんなと過ごした時間はたくさんの笑顔で溢れ、とても楽しく有意義な時間でした。これから歌う「未来へ」は中学校生活最後の合唱です。今までの練習の成果を存分に発揮して、全力で歌いきりましょう。みんながいたから3年間頑張ってきた。いつも笑顔をくれてありがとう。楽しい時間をありがとう。そして、卒業おめでとう。

私達三年生は新たなステージで大きな壁に打ちのめされても、諦めず、挑戦し、成長し続けます。陵北中学校で学んだことを活かし、これからの人生、ときには下を向いてしまうこともあるかと思いますが最後には必ず前を見て未来に向かって突き進んでいくことを誓います。

最後になりましたが3年間私達三年生を支えてくださったすべての皆様に感謝し、陵北中学校の益々の発展を祈念して、答辞とさせていただきます。

